

施策番号	15
------	----

施策評価シート（評価対象年度：令和4年度）

基本政策	3	産業・雇用
主要施策名	15	観光・交流
5年後のまちの姿	○豊かな自然や歴史・文化等を舞台に、おもてなしの心を持った市民と何度も胎内市を訪れるファン、新たな観光客との活発な交流が行われています。	
施策展開の基本的な考え方	行政は、市内の主要な観光施設の適切な運営とともに、まちぐるみで着地型観光を推進するための合意形成に向けた支援等に取り組みます。 市民等は、地域の魅力に誇りを持ち、観光客の受入れに理解を示し、それぞれの立場からおもてなしに協力します。	
実現に向けた取組	①魅力的な観光プランの提供 ②食、アクティビティの魅力向上による消費・販売機会の拡大 ③施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策 ④効果的・効率的な情報発信	
施策担当課・係	商工観光課 観光振興係	
施策関係課・係	農林水産課 農村交流係	

I 施策の実施状況

1 施策全体の事業費

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
事業費（千円）	604,768				
事務事業数	21				
うち、事務事業評価対象	17				

2 成果指標の達成状況

指標	単位	基準値	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和8年度最終目標
観光入込客数〔年間〕	千人	835	1,022					1,300
胎内型ツーリズム推進協議会301人会受入人数〔年間〕	人	627	592					2,000
道の駅胎内（観光交流センター）の売上〔年間〕	千円	9,017	10,496					9,880
既存施設のオフシーズン活用数〔年間〕	件	2	2					5
観光協会ホームページビュー数〔月平均〕	千ビュー	17	17					30

成果指標による現状分析	<p>ウィズコロナの浸透により、徐々にイベントなども開催されはじめたことや、引き続きアウトドアアクティビティを中心とする集客が堅調だったことに加えて、胎内スキー場が営業できたことにより観光入込客数が回復傾向にある。</p> <p>令和4年度は前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響により農泊受入れができなかった。県内においても教育旅行の農泊は停滞しており、送り手側の活動自粛による日帰りでの体験人数も減少している。</p> <p>道の駅胎内の売店売上は、最終目標値比106%となり、コロナ禍でありながらも前年度よりも売上増、最終目標値の達成となった。</p> <p>既存施設のオフシーズン活用数については、スキー場駐車場を利用したジムカーナとスキー場を利用したパラグライダーの2件であった。</p> <p>観光協会ホームページビュー数は、最終目標値比57%の17千ビューとなった。</p>
-------------	--

3 施策の進捗状況

達成度	○概ね順調
評価の理由	観光入込客数はコロナ禍前の水準（令和元年度1,073千人）までに回復したことから概ね順調と判断した。 大規模イベント（星まつりは、会場からネット生中継で実施）は中止としたものの、中・小規模のイベントについては人数制限等を行い開催した。

4 取組の状況と今後の方向性

① 魅力的な観光プランの提供

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> 市内の豊かな自然や各種観光資源、歴史・文化資源、イベント等を活用した、誘客・消費につながる季節ごと、目的別の重点モデルコースを作成し、店舗やガイド等の受入体制、情報発信も含めたパッケージ化に取り組みます。 モデルコースの作成に当たっては、各種団体や市民、学生等協力者の力を借りて、街並み等の新しい魅力の掘り起こしや体験プログラムの開発を行います。 胎内型ツーリズム推進協議会 301 人会や受入農家と協力して、教育体験旅行・ふるさと体験学習等の提供を継続します。
これまでの主な取組と実績
<p>【モデルコースについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 目的別重点モデルコースについては随時見直しを図り、各種団体や観光ボランティアガイドと連携を図りながら、市内の多種多様な観光資源をパッケージ化し、観光客のニーズ、時世に沿った魅力的な観光プランの提供に努めている。令和元年度から作成している「いもり胎内・春夏・秋冬号」を令和4年度も2回発行した。また、各号では市内飲食店、菓子店のそれぞれの料理、お菓子等を掲載している。 <p>【体験プログラム開発について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 令和4年度も、新型コロナウイルス感染症の影響から、団体より個人で楽しむ観光がメインとなり、更にはアウトドア志向の高まりによって、豊かな自然を活かしたアウトドアアクティビティが堅調であった。 <p>【教育体験旅行・ふるさと体験学習について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校や専門学校等の受入については、農泊を伴わない集合泊での受入を行った。 (R4 市内小学校4校、市外小学校2校、専門学校1校)
主な課題と今後の対応
<p>【モデルコースについて】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光誘客を促し、地域資源を活用した所得と雇用機会の確保につなげるために、策定したモデルコースをどのような情報媒体（冊子・Web・SNS）で発信すべきか更に検討が必要である。 <p>【体験プログラム開発について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開発する体験プログラムについては、観光客のニーズを見極めるとともに、市内の地域資源を最大限に引き出すようなプログラムの開発に、地域住民、民間企業等と連携をさらに深めつつ、取り組む必要がある。 <p>【教育体験旅行・ふるさと体験学習について】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農家民泊は地域活性化や教育効果が高く、需要はあることから、受入先や体験プログラムの再構築を図り農泊の再開を目指す。

② 食、アクティビティの魅力向上による消費・販売機会の拡大

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> 道の駅や物産館等への誘客を図るため、観光客だけでなく地元消費者のニーズを捉えた商品開発や販売方法等の提案、働きかけを行います。 魅力的な飲食施設やレジャー施設を発掘し、観光プランへの反映や積極的なPRを行います。 地域の食材等を使用した商品・メニューを提供している菓子店・飲食店等と連携し、集客につなげる取組を行います。
これまでの主な取組と実績
<p>【道の駅等への誘客促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 道の駅胎内やきのと物産館等への誘客促進として、農産物生産団体、地域おこし協力隊 OB・OG、個人農家などの安心・安全の農産物等の販売を行い、市外の方のみならず、地元消費者ニーズに対しても対応した。 <p>【飲食施設やアクティビティ等の観光プランへの反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自園産ドウ100%の胎内高原ワインを絡め、極上ワインのスイートルームプラン、村上牛と新発田牛食べくらべプラン、アフタヌーンティープラン、胎内川SUP体験付プラン等を造成し、好評を得ている。 <p>【新たな特産品開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 胎内産べにはるかについては、生産者、JA胎内、胎内市、新潟食料農業大学が共同でブランド化を図るため新ブランド名「はるかなた」として販売をしている。また、中条町商工会では市内小学生からアイデアを募集し市内菓子店等が商品化するスイーツフェアを毎年開催しており、市もオブザーバーとして参加し特産品の推進を図っている。
主な課題と今後の対応
<p>【道の駅等への誘客促進】</p> <ul style="list-style-type: none"> 戦略的に誘客促進に取り組むため、飲食・物販の核となる場の整備方針（ハード、ソフト）を定め、市内全体として更に胎内の魅力に触れる場を創出する。 <p>【飲食施設等の観光プランへの反映】</p> <ul style="list-style-type: none"> 観光客のニーズを見極めるとともに、市内の地域資源を最大限に引き出すプラン・メニューの開発に、地域住民、民間企業等と連携を更に深めながら、取り組む必要がある。 <p>【新たな特産品開発】</p> <ul style="list-style-type: none"> 地域の特産品としては、米粉・ワイン・べにはるか・マコモダケ等の商品開発や加工開発をしており、今後は農業者、民間事業者、地域おこし協力隊等が連携し、新たな特産品開発が進められるよう支援する。 胎内産べにはるかの新ブランド「はるかなた」を特産として推進して行く。

③ 施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策

施策の内容
<ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化対策と併せた再整備やスキー場のオフシーズン活用など、閑散期対策で施設の有効活用を図ります。運営の効率化に高い効果が期待できる場合には、指定管理者制度等の導入を検討します。 特に老朽化の進んだ施設や利用が著しく少ない施設、教育等その他の分野での活用があまり期待できない施設については、廃止や用途変更も含めて今後の活用方針を検討します。 鉄道や観光バスで地域を訪れる人のための二次交通を提供する方策を検討します。
これまでの主な取組と実績
<p>【施設の有効活用】</p> <ul style="list-style-type: none"> 施設の長寿命化については、辺地対策事業債を活用し、大規模改修並びに部分改修を行い、一般財源を抑えた中での改修を進めている。（ロイヤル胎内パークホテル・胎内スキー場・クアハウスたいない・塩の湯温泉・樽ヶ橋遊園等） <p>【施設の活用方針の検討】</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用状況が少ない施設等に関しては、選択と集中の中で方針を検討している。 <p>【二次交通の提供】</p>

・二次交通の提供に関しては、デマンドタクシーのれんす号のほか、新型コロナウイルス感染症対策のため、6月から12月までの間、土日・祝日に限定して市内の行楽地を巡る無料観光バスを運行した。

主な課題と今後の対応

【施設の有効活用】

- ・施設やエリアの魅力向上策として、新たなプログラムを作成し、閑散期やオフシーズンの活用を考え、更に強化を図る。
- ・胎内リゾートエリアでは、生涯学習施設等と施設間の連携強化も進めていく。

【二次交通の提供】

- ・二次交通の提供に関しては、令和5年度から「くるっと胎内」の秋の行楽シーズン運行と「たいたいタク旅割」の通年実施をしていく。

【施設の活用方法の検討】

- ・令和元年度から運営を休止している胎内アウレツ館の廃止の方策について継続的に検討する。

④ 効果的・効率的な情報発信

施策の内容

- ・観光拠点やその周辺環境整備や景観整備、デザイン性の高いサインの設置等、地域の魅力向上につながる方策を検討します。
- ・観光協会をはじめとする関係団体と協力して各種メディアへの働きかけやSNSの活用等を強化し、胎内市の観光情報を積極的に発信するほか、新発田市、聖籠町等の近隣の市町村や観光地と連携して情報発信や集客の強化を図ります。
- ・胎内市の観光による効果については、観光入込客数、主要観光施設売上高など各種統計の推計を行い、それをホームページ等に掲載し、市民に分かりやすい形で情報発信を行います。

これまでの主な取組と実績

【観光の環境整備等】

- ・観光サインの整備については、観光拠点を中心とした整備計画のもと、サインマスタープランのとおり計画的に更新している。その他場所によっては老朽化により撤去を実施。

【観光情報の発信等】

- ・観光情報の発信については、商工観光課フェイスブック、樽ヶ橋遊園ブログ、インスタグラムなどSNSを活用して観光情報を発信するとともに、胎内市観光協会のホームページ、ブログ、フェイスブックなどの活用に関しても、連携を図り情報発信を依頼している。

主な課題と今後の対応

【観光の環境整備等】

- ・観光サインの整備については、胎内市観光サインマスタープランに基づき、財政状況を考慮し優先順位のもと計画的に改修を行う。

【観光情報の発信等】

- ・観光情報の発信については、引き続き胎内市観光協会とも連携を図りSNS等を活用して行っていく。
また、キノトラベルやNPOヨリシロなどの市内の観光・まちづくりに関係する民間団体とも連携を図り、情報発信を行うとともに観光による効果についても順次発信していく。
- ・阿賀北9市町村（新発田市・村上市・阿賀野市・胎内市・五泉市・聖籠町・関川村・粟島浦村・阿賀町）による、広域的な連携の中で、観光振興が図られる取組を行う。

5 施策の今後の方針

施策方針	◎拡充
施策方針に関する説明	<p>地域の観光資源を生かした体験プラン等を観光振興推進サポーターを主として市、関係団体等と連携し観光交流人口の拡大を図る。</p> <p>「オールシーズン胎内」の核となるロイヤル胎内パークホテルの四季折々の魅力的なプランの提供により、個人の顧客満足度を向上させる宿泊特化型ホテルを指定管理者である株式会社胎内リゾートと共に目指す。また、冬季間のレジャー施設であるスキー場以外のアクティビティ（体験プログラムなど）を充実させ魅力ある冬の胎内をPRするとともにオフシーズンの活用策の拡充についても引き続き検討していく。「米粉のまち」として、飲食店・菓子店等にある米粉商品を市内外に向けPRする。</p> <p>定住自立圏広域観光推進協議会において、新発田市・聖籠町と連携をしながら地域の活性化につながる取組を進める。</p>

II 施策を構成する事業等

事業 コード	事務事業名	R4		R5		達成度	今後の 方向性	担当課
		事業費	うち 一般財源	当初予算額	うち 一般財源			
330110	チューリップフェスティバル事業	2,807	2,807	3,593	3,593	○	③	農林水産課
330111	フルーツパーク運営事業	10,258	9,597	10,110	9,506	◎	③	農林水産課
330112	フラワーパーク運営事業	5,802	5,522	7,192	6,900	◎	③	農林水産課
330114	胎内型ツーリズム推進事業	908	908	1,006	988	×	②	農林水産課
330120	避難小屋・登山道関連事業	10,134	7,642	10,717	7,512	△	③	商工観光課
330210	農業まつり事業	476	476	605	605	△	③	農林水産課
330310	塩の湯施設管理事業	9,238	7,723	9,719	7,688	○	③	商工観光課
330311	海水浴場管理運営事業	2,315	2,315	3,056	2,939	△	③	商工観光課
330312	はまなすの丘維持管理事業	1,723	1,625	2,416	2,286	○	③	商工観光課
330313	観光物産館管理事業	7,513	7,513	2,962	2,935	△	③	商工観光課
330316	ロイヤル胎内パークホテル運営事業	180,804	59,397	285,412	56,681	△	②	商工観光課
330317	奥胎内ヒュッテ管理事業	17,520	17,520	25,078	1,968	×	③	商工観光課
330318	クアハウスたいたい管理事業	66,444	46,444	156,978	25,725	△	④	商工観光課
330319	樽ヶ橋遊園運営事業	44,247	0	38,974	0	◎	②	商工観光課
330320	胎内スキー場管理事業	160,342	13,242	278,548	12,301	◎	③	商工観光課
330322	観光交流センター運営事業	22,298	12,098	11,311	11,281	◎	②	商工観光課
330410	観光振興事業	50,965	50,854	41,044	41,032	△	④	商工観光課

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330110		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者	
事務事業名	チューリップフェスティバル事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	06 農林水産業費
主要施策	15	観光・交流		中	01	魅力的な観光プランの提供	項目	01 農業費
				小	10	チューリップフェスティバル事業	目	05 農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令			
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市及びチューリップフェスティバル実行委員会が主催となり、観光と農業を結びつけたイベントを開催し、市産チューリップの振興と地域の活性化を図る。
主な実施内容	チューリップフェスティバルの開催。 ○オープニングイベント ○チューリップウエディング ○高所作業車 ○人力車運行 ○チューリップ写真コンテスト
実施方法	市が直接実施＋委託＋補助・負担

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	2,807	3,593			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	2,807	3,593	0	0	0
人件費（千円）	937	0	0	0	0
正(h) ※事業費	860	0	0	0	0
会計年度 ※任用(h) 費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	3,744	3,593	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	委託料2,079千円、職員手当558千円、需用費117千円、役員費53千円				
単位コスト	算出方法 総事業費/入場者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	76.8円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	市内事業者出店数	市内事業者出店数	市内事業者出店数	
	目標	6事業者	6事業者	6事業者	
	実績	4事業者			
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	
	目標	60,000人	60,000人	60,000人	
	実績	48,767人			
	目標比	81.3%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
評価の理由	来場者数が目標に達しなかったため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

コロナ禍での開催のため入口に消毒や、注意看板を会場内に設置し安全な開催に努めた。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	実行委員会で運営している。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> ほ場周りを舗装し来場者の歩きやすい会場とする。 アンケートの回収率の向上。 出店場所、方法の見直し。 PRの強化 魅力あるイベント開催

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
<ul style="list-style-type: none"> フェスティバル期間中に行う各種イベント、出店について再考する。 SNSなどを利用し市外からの誘客を図る。 計画的に会場整備を図る。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330111		担当課	農林水産課	担当係	農産振興係	担当者			
事務事業名	フルーツパーク運営事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	06	農林水産業費
主要施策	15	観光・交流		中	01	魅力的な観光プランの提供		項目	01	農業費
				小	11	フルーツパーク運営事業		目	05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市フルーツパーク条例	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	やすらぎのある憩いの場の整備によって、都市農村交流の拡大及び果樹の振興と活性化を図る。 今後は加工用ブドウの植栽も進めワイン原料の確保に努める。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・植栽果樹の適切な栽培管理 ・施設の維持管理、生産物の販売
実施方法	委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	10,258	10,110				
国・県支出金	0	0				
地方債	0	0				
その他	661	604				
一般財源	9,597	9,506	0	0	0	
人件費（千円）	28	0	0	0	0	
正(h) ※事業費	15	0	0	0	0	
委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費+人件費	10,286	10,110	0	0	0	
財源「その他」内訳	生産物売払収入661千円					
事業費の主な支出内容	委託料10,000千円、需用費250千円、役員費8千円					
単位コスト	算出方法	総事業費における収穫量1kg当たりの経費 総事業費/収穫量				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		11.6千円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	栽培本数(ワイ運用ブドウ)	栽培本数(ワイ運用ブドウ)	栽培本数(ワイ運用ブドウ)	
	目標	1,000本	1,000本	1,000本	
	実績	1,005本			
成果指標	名称	収穫量	収穫量	収穫量	
	目標	850kg	1,000kg	1,000kg	
	実績	882kg			
	目標比	103.7%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	ワイン用ブドウの植栽が進み、目標とする収穫量を達成することができた。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

【R4】	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟食料農業大学との連携による収穫ボランティアの受入
------	---

6 協働の状況

協働の状況	実施・検討中
具体的な状況	協働の可能性、あり方を検討していく。

7 事業の課題

施設のほ場は約0.5haであり、多くの収穫は望めないが、安定した収穫量を確保するとともに、より効率的な管理体制となるよう検討を進める必要がある

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
施設及び植栽果樹等の管理運営について、どのような手法であれば効果的・効率的に運営がなされ、かつ経費節減が図られるかを検討していく。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	④	②	①
	拡充	◎	◎	◎
	維持	◎	◎	◎
	縮小	◎	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎
削減	◎	◎	◎	
縮小	◎	◎	◎	
維持	◎	◎	◎	
拡大	◎	◎	◎	
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330112		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者		
事務事業名	フラワーパーク運営事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	06	農林水産業費
主要施策	15	観光・交流		中	01	魅力的な観光プランの提供	項目	01	農業費
				小	12	フラワーパーク運営事業	目	06	フラワーパーク費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内リゾートエリア内にある施設であることから周辺観光施設と連携し、市民へのやすらぎある憩い場の提供、観光交流人口の拡大及び園芸の振興の地域活性化を図る。
主な実施内容	春から秋にかけての草花や草木を植栽しているほか、芝広場や東屋の設置により様々な年齢層の人々が憩える空間を作っている。ボランティアを受入れし、園内整備を行い、経費削減を図った。
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	5,802	7,192			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	280	292			
一般財源	5,522	6,900	0	0	0
人件費（千円）	3,746	0	0	0	0
正(h) ※事業費	2,000	0	0	0	0
会計年度任用(h) ※事業費	1,974	0	0	0	0
総事業費+人件費	9,548	7,192	0	0	0
財源「その他」内訳	人工培養施設使用者負担金 138千円、自動販売機収入 2千円、鹿ノ俣発電所運営事業繰入金 140千円				
事業費の主な支出内容	給料（会計年度任用職員） 1,895千円 種苗代 1,133千円 定植作業等業務委託料 645千円 光熱水費 625千円				
単位コスト	算出方法（総事業費+人件費-工事費）/入園者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	2,870円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	188日	188日	188日	
	実績	186日			
成果指標	名称	入園来場者数	入園来場者数	入園来場者数	
	目標	3,000人	3,000人	3,000人	
	実績	3,330人			
	目標比	111%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	成果指数の達成状況等による。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

地域おこし協力隊と連携イベントを開催 植栽の苗の種類を絞りなるべく手間のかからない品種で経費の削減を図った。 人件費を抑制し最低限の人員で管理を行った。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	不定期ではあるが、ボランティアスタッフが来ている。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 少人数管理のため除草管理に苦慮している。 メインのボランティア団体の解散によりボランティア数が減少。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
<ul style="list-style-type: none"> 市報等でボランティア募集を行い人数確保に努める。 市民が気軽に憩える公園として利用できるような近隣リゾート施設との連携を図り、来園者の増加に努める。 					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	④	②	①
	拡充	◎	◎	◎
	維持	◎	◎	◎
	縮小	◎	◎	◎
	休廃止	◎	◎	◎
削減	◎	◎	◎	
縮小	◎	◎	◎	
維持	◎	◎	◎	
拡大	◎	◎	◎	
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330114		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者		
事務事業名	胎内型ツーリズム推進事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	06	農林水産業費
主要施策	15	観光・交流		中	01	魅力的な観光プランの提供	項目	01	農業費
				小	14	胎内型ツーリズム推進事業	目	05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	都市住民に自然や農業体験の場を提供することを通じて、農家・地域住民の生きがいを創出するとともに地域農業の振興を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと体験学習および体験教育旅行の受入 県内等小・中・高・専門学生の体験教育旅行の誘致 着地型企画の造成及び日帰り型体験活動の利用促進
実施方法	その他

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	908	1,006			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	18			
一般財源	908	988	0	0	0
人件費（千円）	1,873	0	0	0	0
正(h) ※事業費	○ 1,013	0	0	0	0
※会計年度任用(h) 費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	2,781	1,006	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	301人会負担金 500千円 燃料費 149千円				
単位コスト	算出方法 (総事業費+人件費) / 述べ体験者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	4,698円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
産出指標	名称	文六敷(校) ①市内小学校 ②市外小学校	受入数(校) ①市内小学校 ②市外小学校	受入数(校) ①市内小学校 ②市外小学校		
	目標	①5校 ②5校	①5校 ②5校 ③1校	①5校 ②5校 ③1校		
	実績	①4校 ②2校				
成果指標	名称	胎内型ツーリズム推進協議会301人会受入人数	胎内型ツーリズム推進協議会301人会受入人数	胎内型ツーリズム推進協議会301人会受入人数		
	目標	1,300人	1,300人	1,300人		
	実績	592人				
	目標比	45.5%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の影響から、市内小学校及び県内の学校等の限定的な活動となった。また、令和4年度についても、昨年度に引き続き農泊受入ができなかったことから達成度を×とした。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 観光ボランティアガイド等地域の先生の積極的な活用。 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から農泊の中止。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	体験に必要な講師等、市内の事業者の方を依頼し実施している。

7 事業の課題

活動拠点であった胎内アウレツ館の休止による活動場所の確保や、新型コロナウイルス感染症の影響により、直近3年間は農泊の受入れを中止している。受入農家については、高齢化や受入軒数の不足による負担と新型コロナウイルス感染症対応等の複数要因が重なっており受入体制が不安となっていることから、十分な検討が必要である。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
②					
農家民泊は地域活性化や教育効果が高く、需要はあることから、受入先の確保、市単独で行える農泊を第一に目指したうえで、広域連携等も視野に入れ再構築を図る。					
体験活動プログラムの見直しを図り、あわせて市民参画型の胎内型ツーリズムを一層推進する。					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	×	④	②	①
	維持	×	⑤	③	×
	縮小	×	⑥	×	×
	休廃止	⑦	×	×	×
	削減	×	縮小	維持	拡大
	コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330210		担当課	農林水産課	担当係	農村交流係	担当者		
事務事業名	農業まつり事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	06	農林水産業費
主要施策	15	観光・交流		中	02	※、アクティビティの難易度向上による消費・販売促進の拡大	項目	01	農業費
				小	10	農業まつり事業	目	05	農業振興費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	地域の特性を活かした農産物、加工品等を販売するイベントを開催し、市民への周知と消費拡大により地域活性化を図る。
主な実施内容	胎内いいもんマルシェの開催
実施方法	市が直接実施＋補助・負担

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	476	605			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	0			
一般財源	476	605	0	0	0
人件費（千円）	749	0	0	0	0
正(h) ※事業費	400	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※任用(h) ※業務費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	1,225	605	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	使用料及び賃借料227千円、時間外72千円、需用費62千円、委託料60千円、報償費55千円				
単位コスト	算出方法 総事業費/入場者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	350円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開催日数	開催日数	開催日数	
	目標	1日	1日	1日	
	実績	1日			
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	
	目標	6,000人	6,000人	6,000人	
	実績	3,500人			
	目標比	58.3%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
評価の理由	来場者数が目標に達しなかったため				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

実行委員会を設立し中条町商工会が事業主体となり新潟県消費喚起・需要拡大プロジェクト応援補助金を活用し事業の充実を図った。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	企画運営の主体は中条町商工会で行っている。

7 事業の課題

いいもんまつり、黒川産業まつり、JA胎内市収穫感謝祭を3か所で開催していたためシャトルバスを運行していたが、JA胎内市と2か所の開催となり利用者がほとんどいなくなったため廃止の検討が必要。町村合併からの開催内容から「いいもんまつり」「JA胎内市収穫祭」「黒川産業まつり」の同時開催に変わり現行の形への移行した経緯があり、現在の「いいもんマルシェ」では農産物の出店販売がほとんどなく農業まつりとしての色が薄れている。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
開催について現状はぶれず胎内としているものの、アリーナを利用することができないため、雨天時の対応なども含め全体的な検討が必要。JA胎内市が別会場で開催しており令和6年度には中条町、黒川商工会の合併も控えておりイベント開催の内容を整理する。					

9 二次評価委員会所見

--

今後の方向性		④	②	①
成果の方向性	拡充	×	×	×
	維持	×	⑤	③
	縮小	×	⑥	×
	休廃止	⑦	×	×
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330310		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者			
事務事業名	塩の湯施設管理事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計			
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	03	民生費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項	01	社会福祉費
				小	10	塩の湯施設管理事業		目	03	老人福祉費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規	サンセット中条条例、高齢者健康増進ふれあい施設条例	関連計画			

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理制度により塩の湯温泉施設の管理運営を行い、健康増進と寄りあいの場を提供する。また、近隣市町村で運営している同様の施設等を考慮し、料金の見直しを検討する。
主な実施内容	塩の湯温泉施設の運営・管理を行う。 平成17年度より指定管理者制度に移行 ・村松浜高齢者健康増進ふれあい施設 ・サンセット中条
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	9,238	9,719			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	1,515	2,031			
一般財源	7,723	7,688	0	0	0
人件費（千円）	412	0	0	0	0
正(h) ※事業費	220	0	0	0	0
会計年度任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	9,650	9,719	0	0	0
財源「その他」内訳	給湯業務等受託収入1,515千円				
事業費の主な支出内容	委託料5,737千円、光熱水費1,515千円、修繕費1,085千円				
算出方法	総事業費/年間利用者数 ※工事費を除く				
実績	98円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	
	目標	344日	344日	344日	
	実績	315日			
成果指標	名称	年間利用者数	年間利用者数	年間利用者数	
	目標	105,200人	105,200人	105,200人	
	実績	94,044人			
	目標比	89.4%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない コロナ禍により、目標とする入館者数には達しなかった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

内容	
----	--

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	㈱J. SECURITYによる指定管理を行っているため。

7 事業の課題

課題	指定管理者制度を有効に活用し引き続き利用者数の増加策を講じていく。
----	-----------------------------------

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
内容	新型コロナウイルス感染拡大により目標とする利用者数を維持又は増加させることは令和3年度に引き続き非常に厳しい状態であったと考えられるが、そのような状況でも指定管理者は集客努力を重ねるとともに経費の削減に注力し損失が最小限となるよう尽力していただいた。 新型コロナウイルス感染症の5類感染症移行による生活様式の変化から、今後はより一層の効率的な管理運営が期待できる。 また、エネルギー価格高騰の状況により適正な料金改定も検討していく。				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性																					
成果の方向性	<table border="1"> <tr> <td>拡充</td> <td>④</td> <td>②</td> <td>①</td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td>⑤</td> <td>③</td> <td></td> </tr> <tr> <td>縮小</td> <td>⑥</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>休廃止</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> </table>	拡充	④	②	①	維持	⑤	③		縮小	⑥			休廃止	⑦			削減	縮小	維持	拡大
拡充	④	②	①																		
維持	⑤	③																			
縮小	⑥																				
休廃止	⑦																				
削減	縮小	維持	拡大																		
コスト投入の方向性																					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330311		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者			
事務事業名	海水浴場管理運営事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流			中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項目	01	商工費
					小	11	海水浴場管理運営事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規			関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	市内はもとより市外からの観光誘客を図るために、村松浜に海水浴場を設置し、海水浴場開設期間中の場内を安全と衛生を保つ。海水浴客の減少傾向がある中で費用対効果も考慮しつつ事業の見直しを図る。
主な実施内容	海岸に安全を確保できる範囲・深さの区画を指定し、夏期の一定期間、海水浴場として開放し安全管理と運営を行う。
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	2,315	3,056			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	117			
一般財源	2,315	2,939	0	0	0
人件費（千円）	94	0	0	0	0
正(h) ※事業費	68	0	0	0	0
※任用(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	2,409	3,056	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	委託料1,977千円、光熱水費103千円				
単位コスト	算出方法 総事業費／来場者数 ※工事費は除く				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	1,123円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開設期間	開設期間	開設期間	
	目標	35日間	35日間	35日間	
	実績	28日間			
成果指標	名称	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数	開設期間中の来場者数	
	目標	4,000人	4,000人	4,000人	
	実績	2,062人			
	目標比	51.5%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	開設期間中の天候が不安定であり、中止せざるを得ない日があったことにより、入込数が目標値より下回ったため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

実施	
具体的状況	築地小・中学校生徒及び地域住民による海岸清掃ボランティア

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的状況	築地小・中学校生徒及び地域住民による海岸清掃ボランティア

7 事業の課題

課題	監視業務委託先と協力し監視員の募集を行っているものの、人員不足及び従事者の高齢化が深刻である。従事者の若手登用により、事故発生時の対応をより迅速なものとし、利用者の一層の安全確保に努めなければならない。
----	---

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
早期の募集により、監視員の人員確保及び若手の登用につなげ、来場者の安全に繋げる。来場者数については、開設期間の天候状況により変動するものの年々減少傾向であり今後の事業の在り方について検討が必要である。					

9 二次評価委員会所見

関係事業者と連携した利用促進策を検討のこと。また、つり大会など海水浴以外の利用方法も検討のこと。
--

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	④
	縮小	⑥	①	②
	休廃止	⑦	④	③
	削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330312		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	はまなすの丘維持管理事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計	
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項目	01	商工費
				小	12	はまなすの丘維持管理事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	昭和59年に新潟県が指定した桃崎浜自然環境保全地域の、学術的にも貴重なハマナスなどの海岸植物の群生地を、来場者に親しんでいただける環境を整備し、誘客を図る。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 施設及び周辺の維持管理 公衆トイレや浄化槽の清掃 施設の修繕
実施方法	市が直接実施＋委託

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	1,723	2,416			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	98	130			
一般財源	1,625	2,286	0	0	0
人件費（千円）	94	0	0	0	0
正(h) ※事業費	50	0	0	0	0
委任(山) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費＋人件費	1,817	2,416	0	0	0
財源「その他」内訳	自動販売機収入98千円				
事業費の主な支出内容	管理委託料1,169千円、用地借地料235千円、光熱水費217千円				
算出方法	総事業費／来場者数 ※工事関係費を除く				
実績	17円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開設日数	開設日数	開設日数	
	目標	365日	365日	365日	
	実績	365日			
成果指標	名称	来場者数	来場者数	来場者数	
	目標	119,740人	119,740人	119,740人	
	実績	102,640人			
	目標比	85.7%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	○				
評価の理由	概ね達成したため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

取組と実績	
-------	--

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	・地域と連携してはまなすの丘の管理を実施。

7 事業の課題

課題	学術的にも貴重なハマナスなどの海岸植物が減少傾向にある。また、立地条件により施設の劣化が早く、今後多くの修繕費を要する恐れがある。
----	---

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
今後の方向性	貴重な自然環境を保全し、今後も維持・管理する方法を模索する。砂丘植生が一部退化している状況であり、有識者からの意見・指導により景観づくりに努める。				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	<table border="1"> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>休廃止</td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト投入の方向性</td> <td>①</td> <td>②</td> <td>③</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					成果の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止	削減	縮小	維持	拡大		④	⑤	⑥	⑦					コスト投入の方向性	①	②	③					
成果の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止	削減	縮小	維持	拡大																								
	④	⑤	⑥	⑦																												
コスト投入の方向性	①	②	③																													

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330313		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	観光物産館管理事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項目	01	商工費
				小	13	観光物産館管理事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規	きのと観光物産館条例	関連計画		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理制度によりきのと観光物産館の利用者に観光情報および食事・休憩スペースを提供することで、地域の観光振興と活性化を図る拠点として整備する。
主な実施内容	きのと観光物産館に観光情報コーナーや食事・休憩スペースを整備し、施設の維持管理を行う。
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	7,513	2,962			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	0			
その他	0	27			
一般財源	7,513	2,935	0	0	0
人件費（千円）	412	0	0	0	0
正(h) ※事業費	220	0	0	0	0
※委託料	0	0	0	0	0
※人件費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	7,925	2,962	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	きのと観光物産館施設運営委託料 2,000千円 きのと物産館運営委託料（燃料費高騰分） 510千円 きのと観光物産館改修工事 1,386千円 きのと観光物産館トイレ改修工事 2,519千円				
単位コスト	算出方法 総事業費/入込人数 ※工事費は除く				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	268円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	開館日数	開館日数	開館日数	
	目標	313日	313日	313日	
	実績	310日			
成果指標	名称	入込人数	入込人数	入込人数	
	目標	37,350人	37,350人	37,350人	
	実績	18,650人			
	目標比	49.93			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 入込数の大半が食堂部門であり、新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けることとなり、目標値を大きく下回ったため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

高圧気中開閉器更新工事、トイレ非接触化改修工事を実施した。

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	地域と連携して施設周辺の環境整備を実施。

7 事業の課題

物価及び燃料費高騰により負担が増加している。

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少しそれにより売上も落ち込んでいたが、回復傾向にある。物価高や燃料費高騰により、収益への影響が出ている。人件費や経費削減だけでは対応が困難であると考えられることから、集客増や単価アップ等も踏まえた取り組みが求められる。施設周辺の環境整備については、乙地区の団体と委託契約を交わしており、今後も継続していく方向である。当施設は乙地区で唯一のお食事処として親しまれており、重要な施設であるため修繕等を計画的に行い維持していく方向である。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
	削減	⑧			
コスト投入の方向性	削減	維持	拡大		

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330316		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者			
事務事業名	ロイヤル胎内パークホテル運営事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流			中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項	01	商工費
					小	16	ロイヤル胎内パークホテル運営事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市交流促進施設条例		関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度により胎内リゾートエリアの観光拠点となるロイヤル胎内パークホテルを管理し、宿泊・温泉・食事等の施設サービスを提供するとともに、市民に地域活動への積極的な参加を促し、都市との交流や各種の活動を通じて創意と工夫に基づく地域活動を推進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ロイヤル胎内パークホテルの管理 平成22年度より指定管理者制度を導入しており、現在は榊胎内リゾートに運営を委託（令和4年度から2年間）
実施方法	指定管理

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない 宿泊客数は概ね達成したが、指定管理委託料の低減に繋がらなかったため「△やや達成していない」とした。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

施設改修	R4 96,725千円
------	-------------

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	180,804	285,412			
国・県支出金	0	25,000			
地方債	119,600	203,500			
その他	1,807	231			
一般財源	59,397	56,681	0	0	0
人件費（千円）	450	0	0	0	0
正(h) ※事業費	240	0	0	0	0
※事業費	0	0	0	0	0
※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	181,254	285,412	0	0	0
財源「その他」内訳	光熱水費負担金1,607千円、基金繰入金200千円				
事業費の主な支出内容	施設改修工事96,725千円、施設管理運営委託料67,100千円、ホイールローダーリース料4,054千円 他				
算出方法	総事業費÷利用者数 ※工事関係費を除く				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	5,880円				

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	(株)胎内リゾートによる指定管理を行っているため

7 事業の課題

課題	<ul style="list-style-type: none"> コロナ禍終息後の交流人口増加が予想される中、リピート率向上へ向け、質の高いサービスが求められる。 閑散期の稼働率アップ策の検討。
----	---

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数		
	目標	365日	365日	365日		
	実績	360日				
成果指標	名称	宿泊客数	宿泊客数	宿泊客数		
	目標	14,500人	14,500人	14,500人		
	実績	14,300人				
	目標比	98.6%				

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				
	指定管理者と連携し、個人の顧客満足度を向上させる方策を検討する。				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止	削減	縮小	維持	拡大
		④	②	①					
		⑤	③						
		⑥							
		⑦							
コスト投入の方向性		削減	縮小	維持	拡大				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330317		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者			
事務事業名	奥胎内ヒュッテ管理事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流			中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項目	01	商工費
					小	17	奥胎内ヒュッテ管理事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連法規	胎内市奥胎内野営場宿泊休養施設条例		関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	奥胎内の大自然の立地条件を生かし、大自然を体感できる宿泊施設及び憩いの場を提供する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 奥胎内ヒュッテの管理 平成22年度より指定管理者制度を導入しており、現在は榊胎内リゾートに運営を委託（令和2年度から2年間）
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	17,520	25,078			
国・県支出金	0	0			
地方債	0	23,100			
その他	0	10			
一般財源	17,520	1,968	0	0	0
人件費（千円）	450	0	0	0	0
正(h) ※事業費	240	0	0	0	0
委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	17,970	25,078	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	施設改修工事16,417千円、修繕費455千円、家具リース料403千円				
算出方法	総事業費÷利用者数 ※工事関係費を除く				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	2,453円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	
	目標	150日間	150日間	150日間	
	実績	71日間			
成果指標	名称	宿泊客数	宿泊客数	宿泊客数	
	目標	1,900人	1,900人	1,900人	
	実績	450人			
	目標比	23.7%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	×				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	雷による停電の影響で営業日数も例年の半分となり、宿泊数も落ち込んでしまった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

施設改修 R4	16,416千円
---------	----------

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	（株）胎内リゾートによる指定管理を行っているため

7 事業の課題

課題	登山者向けフロアの利用がまだ低迷しているため、販売力の強化が求められる。
----	--------------------------------------

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> アウトドア志向の高まりを受け、ワーケーションを含め、自然を生かした様々なプラン作りの提案により客層を広げていく。 利用者を増やすため、SNSなどを用いた奥胎内の魅力を伝える情報発信力の強化を行う。 				

9 二次評価委員会所見

今後の利用促進策を検討すること。

今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①
	維持	⑤	③	
	縮小	⑥		
	休廃止	⑦		
		削減	縮小	維持
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330318		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者			
事務事業名	クアハウスたいない管理事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	予算科目	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策		項目	01	商工費
				小	18	クアハウスたいない管理事業		目	04	クアハウスたいない費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規	クアハウスたいない条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理者制度によりクアハウスたいないを運営し、住民および胎内市に訪れる人々の保養と健康増進の場を提供する。
主な実施内容	プール、温泉、トレーニング設備等の管理運営
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	66,444	156,978			
国・県支出金	0	0			
地方債	20,000	131,200			
その他	0	53			
一般財源	46,444	25,725	0	0	0
人件費（千円）	523	0	0	0	0
正(h) ※事業費	279	0	0	0	0
委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	66,967	156,978	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	運営委託料56,522千円、工事実施設計委託料 2,618千円、施設改修工事5,801千円、修繕費1,009千円 他				
算出方法	総事業費÷利用者数 ※工事費を除く				
実績	752円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	
	目標	354日	354日	354日	
	実績	351日			
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	117,000人	117,000人	117,000人	
	実績	77,120人			
	目標比	65.9%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
評価の理由	利用者人数が目標値を大きく下回ったため。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

<ul style="list-style-type: none"> 令和4年度より条例改正を行い施設使用料金の改定を行った。
--

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	榑中条スイミングスクールによる指定管理を行っているため。

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 今年度より、料金改定を行ったことに伴い、既存のサービス・施設を維持するとともに、健康増進施設としてのさらなるサービスの向上が求められる。
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	④				
<ul style="list-style-type: none"> 利用者の満足度を向上させるため、健康増進施設にふさわしい事業等の取組について指定管理者と協議する。 					

9 二次評価委員会所見

	今後の方向性				
成果の方向性	拡充	④	②	①	
	維持	⑤	③		
	縮小	⑥			
	休廃止	⑦			
		削減	縮小	維持	拡大
コスト投入の方向性					

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330319		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	樽ヶ橋遊園運営事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項目	01	商工費
				小	19	樽ヶ橋遊園運営事業	目	05	樽ヶ橋遊園運営費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令	動物愛護管理法			
	法令による義務付け		任意		関連例規	樽ヶ橋遊園条例		関連計画	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	樽ヶ橋遊園の遊具や設備の整備、約20種類の動物の飼養、施設の運営管理を行い、住民および胎内市に訪れる人々に健全な心身の憩いの場と動物とのふれあいの場を提供する。
主な実施内容	約20種類の動物の飼養、施設や遊具等の管理運営、園内の景観整備
実施方法	市が直接実施

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	44,247	38,974				
国・県支出金	0	0				
地方債	12,400	6,100				
その他	31,847	32,874				
一般財源	0	0	0	0	0	
人件費（千円）	25,576	0	0	0	0	
正(h) ※事業費	○ 12,574	0	0	0	0	
※任用(h) ※事業費	○ 16,670	0	0	0	0	
総事業費+人件費	69,823	38,974	0	0	0	
財源「その他」内訳	樽ヶ橋遊園入場料、施設使用料 29,773千円、アトラクション体験料等 2,074千円					
事業費の主な支出内容	会計年度給与費12,271千円、需用費11,355千円、工事請負費8,066千円、備品購入費5,910千円、工事監理業務委託料5,830千円、委託料3,324千円					
単位コスト	算出方法	入場者1人あたり運営コスト（総事業費+人件費）/入場者数 ※工事費・設計費を除く				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		982円				

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数		
	目標	244日	244日	244日		
	実績	236日				
成果指標	名称	入場者数	入場者数	入場者数		
	目標	50,000人	50,000人	50,000人		
	実績	69,950人				
	目標比	139.9%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	県外との往来に関する規制などがなかったことや大雨被害による閉園などによって前年度と比較すると来園者数は減少したものの動物にもふれあえるレジャー施設として新潟市をはじめとする近隣市町村から多くの集客を得ることができた。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

[R4]第4駐車場拡張工事整備、メリーゴーラウンド改修工事、鳥舎雪害対策工事
敷地内出店イベントの通年実施

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	園内整備ボランティア、動物飼育ボランティア

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> リピーターを増やすための方策の検討。 雨天時や猛暑時の集客対策
--

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				
樽ヶ橋エリアだけでなく市内観光の中核を担う施設でもあることから、引き続き事業目的である健全な心身の憩いの場、動物とのふれあいの場を提供するために施設機能の適正な維持管理を行うとともに雨天時や猛暑時での集客策の検討とサービス、満足度の向上に努める。					

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	成果の方向性	④	②	①
	拡充	×	×	×
	維持	×	⑤	③
	縮小	×	⑥	×
	休廃止	⑦	×	×
削減	×	×	×	
縮小	×	×	×	
維持	×	×	×	
拡大	×	×	×	
コスト投入の方向性				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330320		担当課	商工観光課		担当係	観光振興係		担当者	
事務事業名	胎内スキー場管理事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33 観光・交流		予算科目	款	07 商工費
主要施策	15	観光・交流			中	03 施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策			項	01 商工費
					小	20 胎内スキー場管理事業			目	03 観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規		胎内市地域間交流センター条例・胎内市業連事業条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	胎内スキー場を管理し、地域の特性及び資源を活かした雪国の独自性ある交流事業によって魅力ある地域づくりを推進する。
主な実施内容	<ul style="list-style-type: none"> 胎内スキー場の管理 平成22年度より指定管理者制度を導入しており、現在は榊胎内リゾートに運営を委託（令和2年度から2年間）
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	160,342	278,548			
国・県支出金	0	0			
地方債	147,100	266,000			
その他	0	247			
一般財源	13,242	12,301	0	0	0
人件費（千円）	225	0	0	0	0
正(h) ※事業費	120	0	0	0	0
委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	160,567	278,548	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	施設改修工事149,262千円、修繕費7,639千円、国有林野借地料1,829千円 他				
算出方法	総事業費÷利用者数 ※工事関係費を除く				
実績	136円				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	
	目標	80日間	80日間	80日間	
	実績	77日間			
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	55,000人	55,000人	55,000人	
	実績	81,396人			
	目標比	148.0%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない					
評価の理由	降雪量に恵まれ、利用者数の増加につながった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

主な取組と実績	リフト料金の値上げ
---------	-----------

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	（株）胎内リゾートによる指定管理を行っているため

7 事業の課題

事業の課題	設備の老朽化が進んでおり、大規模な工事となるため計画的な整備が必要となる。
-------	---------------------------------------

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	③				
今後の方向性	<ul style="list-style-type: none"> 冬の観光の中心施設として、指定管理者と協議しながら円滑な運営体制を図る。 設備の更新、ゲレンデ等の整備を計画的に進める。 				

9 二次評価委員会所見

二次評価委員会所見																																				
今後の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>休廃止</td> </tr> <tr> <td></td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> </tr> <tr> <td></td> <td>②</td> <td>③</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> <td>⑬</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> </tr> <tr> <td>コスト投入の方向性</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	今後の方向性					成果の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止		④	⑤	⑥	⑦		②	③	⑧	⑨		⑩	⑪	⑫	⑬		削減	縮小	維持	拡大	コスト投入の方向性				
今後の方向性																																				
成果の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止																																
	④	⑤	⑥	⑦																																
	②	③	⑧	⑨																																
	⑩	⑪	⑫	⑬																																
	削減	縮小	維持	拡大																																
コスト投入の方向性																																				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330322		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者			
事務事業名	観光交流センター運営事業			事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用		事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流			中	03	施設・エリアの魅力向上と閑散期等対策	項目	01	商工費
					小	22	観光交流センター運営事業	目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令					
	法令による義務付け		任意		関連例規	胎内市観光交流センター条例	関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン		

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	指定管理委託制度により観光交流センターを運営し、胎内市を訪れる観光客等に観光案内及び観光情報の発信を行う。
主な実施内容	胎内市観光協会を指定管理者として運営委託
実施方法	指定管理

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
総事業費（千円）	22,298	11,311			
国・県支出金	0	0			
地方債	10,200	0			
その他	0	30			
一般財源	12,098	11,281	0	0	0
人件費（千円）	300	0	0	0	0
正(h) ※事業費	160	0	0	0	0
※事業費	0	0	0	0	0
※事業費	0	0	0	0	0
総事業費+人件費	22,598	11,311	0	0	0
財源「その他」内訳					
事業費の主な支出内容	観光交流センター管理運営委託料 11,000千円 樽ヶ橋エリア駐車場整備工事費 10,200千円				
単位コスト	算出方法 総事業費/利用者数				
実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	205				

3 指標値の状況

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	営業日数	営業日数	営業日数	
	目標	365日間	365日間	365日間	
	実績	365日間			
成果指標	名称	利用者数	利用者数	利用者数	
	目標	51,500人	51,500人	51,500人	
	実績	56,330人			
	目標比	109.3%			

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	◎				
評価の理由	新潟県民割、stay tainaiキャッシュバックキャンペーンの影響もあり、目標値を概ね達成した。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

施設改修 R4	10,772千円
---------	----------

6 協働の状況

協働の状況	実施不可
具体的な状況	管理運営委託を観光協会にしているため。

7 事業の課題

課題	道の駅としての情報発信機能や樽ヶ橋エリアの観光拠点としての役割が非常に大きい。
----	---

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	②				
課題解決に向けた取組	<ul style="list-style-type: none"> 観光関連施設が連携したプログラムやイベント等を実施して、訪れる人による消費活動が活発になることで、経済的・社会的効果を高める。 様々なSNSを活用、イベントやキャンペーン情報を周知し、若年層・ファミリー層の取り込みを図る。 観光関連組織や施設と連携を取り、情報の共有を行う。 				

9 二次評価委員会所見

今後の方向性	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="5">今後の方向性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>成果の方向性</td> <td>拡充</td> <td>維持</td> <td>縮小</td> <td>休廃止</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>④</td> <td>⑤</td> <td>⑥</td> <td>⑦</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>②</td> <td>③</td> <td>⑧</td> <td>⑨</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑩</td> <td>⑪</td> <td>⑫</td> <td>⑬</td> <td></td> </tr> <tr> <td>コスト投入の方向性</td> <td>削減</td> <td>縮小</td> <td>維持</td> <td>拡大</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					今後の方向性					成果の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止			④	⑤	⑥	⑦			②	③	⑧	⑨			⑩	⑪	⑫	⑬		コスト投入の方向性	削減	縮小	維持	拡大	
今後の方向性																																								
成果の方向性	拡充	維持	縮小	休廃止																																				
	④	⑤	⑥	⑦																																				
	②	③	⑧	⑨																																				
	⑩	⑪	⑫	⑬																																				
コスト投入の方向性	削減	縮小	維持	拡大																																				

事務事業評価シート（評価対象年度：令和4年度事業）

事業コード	330410		担当課	商工観光課	担当係	観光振興係	担当者		
事務事業名	観光振興事業		事業年度	令和4年度		会計区分	一般会計		
基本政策	3	産業・雇用	事業コード	大	33	観光・交流	款	07	商工費
主要施策	15	観光・交流		中	04	効果的・効率的な情報発信	項目	01	商工費
				小	10	観光振興事業	項目	03	観光費
事務区分	法定受託事務		自治事務	○	根拠法令				
	法令による義務付け		任意		関連例規		関連計画	第2次胎内市観光振興ビジョン	

1 事業の取組状況

事業の目的・概要	第2次胎内市観光振興ビジョンの推進を図り、市が目指すべき観光地「どこにもある田舎から、何度も訪れたいくなるふる里」の実現を図る。
主な実施内容	○観光コンテンツの作成 ○イベント・各種体験プログラムの開催 ○観光コンテンツの販売・PR ○いりどり胎内等紙媒体制作、胎内観光NAVI等WEB媒体の運用
実施方法	市が直接実施＋補助・負担

2 事業費の状況（令和4年度は実績値、令和5年度は当初予算額）

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
総事業費（千円）	50,965	41,044				
国・県支出金	0	0				
地方債	0	0				
その他	111	12				
一般財源	50,854	41,032	0	0	0	
人件費（千円）	17,981	0	0	0	0	
正(h) ※事業費	9,600	0	0	0	0	
委任(h) ※事業費	0	0	0	0	0	
総事業費＋人件費	68,946	41,044	0	0	0	
財源「その他」内訳	自動車損害共済金 111千円					
事業費の主な支出内容	胎内市観光協会負担金19,210千円、胎内市観光振興推進サポーター負担金3,646千円、広告料2,138千円、観光案内看板改修工事1,014千円					
単位コスト	算出方法	施設・スポット来場者1人あたり運営コスト（総事業費＋人件費）／施設・スポット来場者数				
	実績	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
		71円				

3 指標値の状況

		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
産出指標	名称	①行事・イベント数 ②施設・スポット数	①行事・イベント数 ②施設・スポット数	①行事・イベント数 ②施設・スポット数		
	目標	①23 ②44	①23 ②44	①23 ②44		
	実績	①339 ②44				
成果指標	名称	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数	①行事・イベント来場者数 ②施設・スポット来場者数		
	目標	①128,000人 ②1,000,000人	①128,000人 ②1,000,000人	①128,000人 ②1,000,000人		
	実績	①55,339人 ②969,020人				
	目標比	①43.2% ②96.9%				

4 達成度

達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	△				
評価の理由	◎：達成 ○：概ね達成 △：やや達成していない ×：達成していない コロナ禍により胎内星まつり、中祭まつりなどの大規模なイベント等が実施できなかったため目標の達成には至らなかった。				

5 主な取組と実績（令和4年度～）

【R4】 観光2次交通の利便性向上策として「たいたいタク旅割」を開始

6 協働の状況

協働の状況	実施
具体的な状況	・集落や地域おこし協力隊、観光ボランティアガイドと連携した体験プログラムの提供

7 事業の課題

<ul style="list-style-type: none"> 胎内リゾートエリアにおける展観施設等との連携強化 二次交通の利便性向上 観光協会の役割、あり方の見直し

8 課題解決に向けた今後の取組

今後の方向性	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	④				
県外との往来が回復したことから胎内市の魅力が伝わる体験プログラムを県外に対しても積極的に発信・提供していく。 また、変化する観光客の多様なニーズに応えるべく、宿泊と観光プログラムを組み合わせた商品の造成や地域資源の有効活用等を目指して観光振興推進サポーターと協力しながら集落や観光関連事業者との連携を引き続き図っていく。					

9 二次評価委員会所見

成果の方向性	拡充	○	④	②	①
	維持	○	⑤	③	○
	縮小	○	⑥	○	○
	休廃止	○	⑦	○	○
		○	削減	縮小	維持
コスト投入の方向性					